

自然災害BCP計画 シュミレーション・研修の実施に向けて

みやき町地域包括支援センター
R7.10.15 牛島 久巖

ケアマネジャーに求められる役割

利用者・家族・事業所の橋渡しの役割を担うため、**初動対応**の質がその後の混乱を左右します。

○利用者一人一人の生活背景を把握しているため、どの利用者が、どこでどの程度支援を受けることができるか迅速に整理し判断できる。

○行政・医療。介護の各機関をつなぐ「情報のハブ」として機能することができる。

① 自身と事業所の安全確認

- ☐ 自分の安全は確保できているか
- ☐ 事務所の被害状況を確認したか
- ☐ 利用可能な通信手段を把握したか

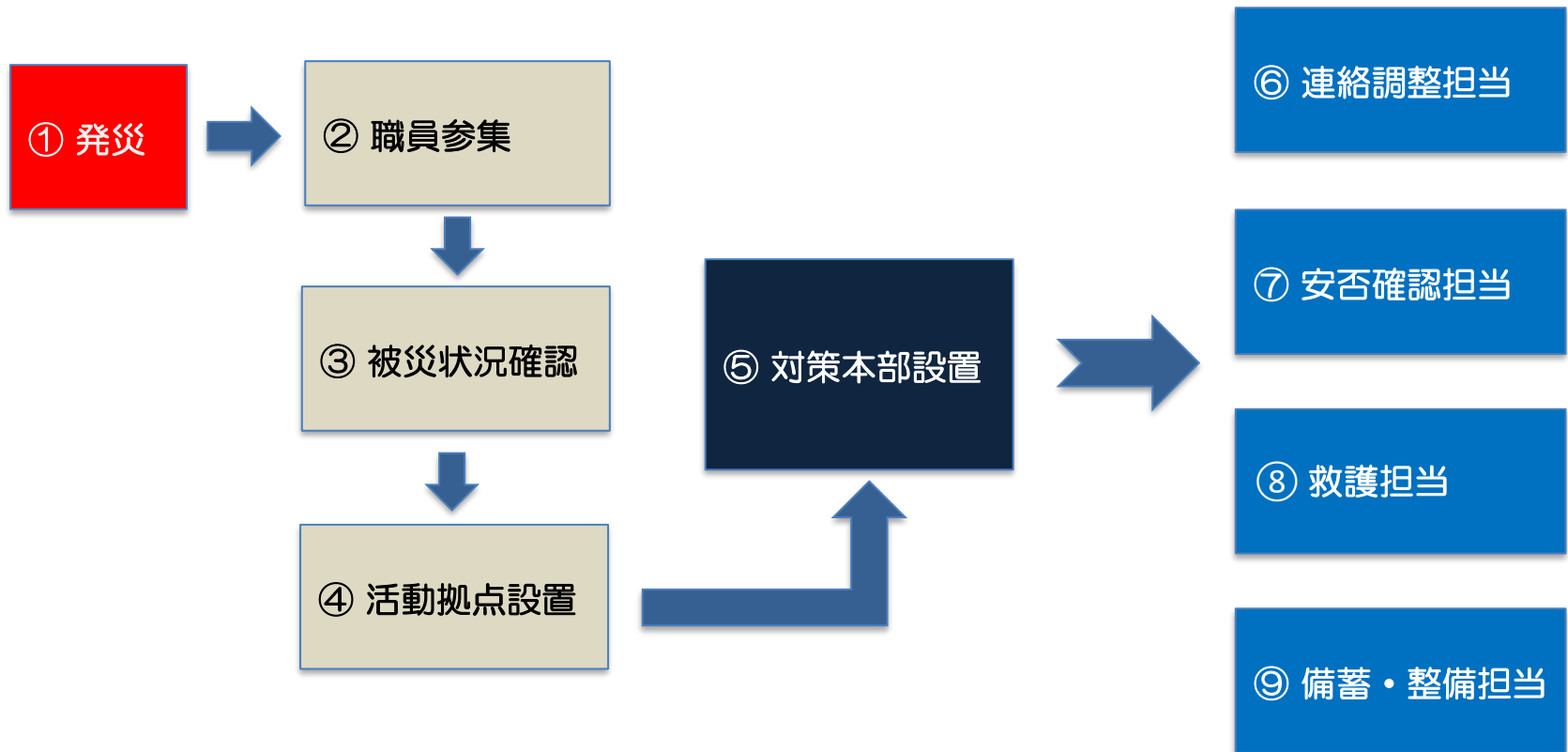
② 利用者の安否確認と優先順位づけ

- ☐ 安否確認の優先順位（独居・重度者など）を把握したか
- ☐ 電話・訪問・安否確認フォームを活用したか
- ☐ 状況を「安全・要支援・不明」で整理したか

③ 情報の集約と共有

- ☐ 安否情報を統一フォーマットで記録したか
- ☐ 管理者や行政・包括支援センターに共有したか
- ☐ 未確認情報やデマを広げていないか
- 「公式な情報源」の活用

発災時 初動行動フロー



「訓練①」 職員の安否確認のタイミングと方法について

各担当の役割

-  連絡調整担当：家族・関係機関への連絡
-  安否確認担当：職員・利用者の安否確認
-  救護担当：負傷者対応・応急処置
-  備蓄・整備担当：食料・水・医薬品の管理

「訓練②」 参集→対策本部→担当設置をどの様に行うか

「訓練①」 職員の安否確認のタイミングと方法について

「災害想定」

日時 令和7年10月5日(日)
深夜 1:30
最大震度7

★皆さんのBCP計画は？

Googleフォームの活用

【QRコードを読み込んで下さい】

- 回答フォームは災害のフェーズや法人組織体制に応じて工夫が必要。
- 集計結果は全職員が閲覧できるよう紙ベースに転記し誰もが見ることができるようにする。

「訓練②」参集→対策本部→担当設置をどの様に行うか

✓ 初動対応の3原則

1. 参集・状況確認
2. 拠点・本部設置
3. 各班の役割分担

👉 事前訓練を通じて確実な対応を実現しましょう

事業所の被災状況の確認

「水道」

使用	可・不可
流量	少量・通常・不規則
確認日	○月○日 ○○時○○分
確認者	

「窓ガラス」

割れ	あり・なし
危険度	軽度・中度・重度
確認日	○月○日 ○○時○○分
確認者	

「トイレ」

使用	可・不可
確認日	○月○日 ○○時○○分
確認者	

「PC」

使用	可・不可
通電	あり・なし
ネット	可・不可
確認日	○月○日 ○○時○○分
確認者	

訓練のポイント

- 机上訓練と実働訓練を組み合わせる
- BCP計画に照らし合わせながら行う
- 訓練を振り返りBCP計画に反映させる

今後の課題

- 「災害時初動マニュアル」の作成が必要
- 情報の連携体制はどうするのか
- 鳥栖広域市町村組合との災害時体制の構築
- 地域包括支援センターの役割は